

# 静岡県月例経済報告

(平成28年1月号)

……平成27年11月を中心とした県内経済のすがた……

No. 477

—静岡県経済産業部—

# 目 次

I	静岡県経済の概況	1
II	静岡県主要経済指標の概況	4
	・ 需要面	4
	・ 生産面	12
	・ 雇用面	15
	・ その他	18
III	静岡県主要産業の動向	22
IV	データからみた県内主要産業	25

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

# I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成27年11月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

## 概況

平成27年11月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、弱さがみられる。

先行きについては、堅調な設備投資などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産面での弱い動きと海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、やや弱さがみられる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、弱めの動きとなっている。
- ・ 生産は、減少傾向にある。

## 需要面

### ◎個人消費は、やや弱さがみられる。

大型小売店販売額(11月)は、百貨店が2か月ぶり、スーパーが5か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも5か月ぶりに前年実績を下回った。

自動車(新車)新規登録台数(11月)は、乗用車が3か月連続、軽自動車が11か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも20か月連続で前年実績を下回った。

### ◎住宅建設は、前年を上回った。

新設住宅着工戸数(11月)は、持家、貸家がいずれも2か月連続、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を上回った。

### ◎公共投資は、前年を上回った。

公共工事請負金額(11月)は、2か月連続で前年実績を上回った。

### ◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成27年12月14日)の27年度設備投資計画は、製造業、非製造業ともに増加する計画となっており、全産業でも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(11月)は、12か月連続で前年実績を下回った。

## ◎輸出は、弱めの動きとなっている。

### 輸入は、前年を上回った。

輸出総額(11月)は、原動機が6か月連続、エアコンが13か月ぶり、科学光学機器が9か月連続で前年実績を上回ったものの、自動車は7か月連続、自動車の部分品が4か月連続、二輪自動車類が3か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額(11月)は、パルプや紙類及び同製品が前年実績を上回ったことから、全体でも3か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、725億円の輸出超過となった。

## 生産面

### ◎生産は、減少傾向にある。

鉱工業生産指数(10月)は、輸送機械工業や電気機械工業などで前年水準を下回ったことから、総合でも4か月連続で前年水準を下回った。また、2か月ぶりに前月を下回った。

また、産業用大口電力消費量(11月)は、16か月連続で前年実績を下回った。

なお、鉱工業在庫指数(10月)は、総合では8か月連続で前年水準を上回った。

## 雇用面

### ◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率(11月)は1.25倍で、前月を0.01ポイント上回り、22か月連続で1倍を上回った。また、2か月連続で全国値に並んだ。

雇用保険受給者実人員(11月)は、28か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数(10月)は、2か月連続で前年水準を上回った。

## その他

### ◎物価は、前年を上回った。

消費者物価指数(12月)は、総合で103.1となり、前年水準を上回った。

また、前月比は同水準だった。

### ◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高(11月)は、前年同月比1.7%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(11月)は、前年同月比8.9%減と前年実績を下回った。

### ◎企業倒産は、件数、負債総額ともに前年を下回った。

企業倒産(12月)は、件数は19件、負債総額は前年同月比11.6%減といずれも前年実績を下回った。

◀ 県の取組 ▶

**【韓国国家食品クラスター「フードポリス」との覚書締結】**

公益財団法人静岡県産業振興財団フーズ・サイエンスセンターと韓国国家食品クラスター「フードポリス」との協力を促進するため、業務協力に関する覚書を締結します。

○ 覚書

(1) 名称

日本国公益財団法人静岡県産業振興財団フーズ・サイエンスセンターと大韓民国国家食品クラスターとの業務協力に関する覚書

(2) 主な内容

- ・食品関連産業分野の研究開発、製品開発、海外展開の相互支援 ほか

○ 調印式

(1) 日 付 平成28年2月2日（火）9時00分から

(2) 会 場 グランシップ大ホール「海」（静岡市駿河区池田）

(3) 署名者 フーズ・サイエンスセンター：堀川知廣センター長  
大韓民国国家食品クラスター：チェ・ヒジョン支援センター長

○ 問合せ先

静岡県経済産業部 商工業局 新産業集積課 TEL 054-221-3588



大韓民国 国家食品クラスター



(公財) 静岡県産業振興財団  
フーズ・サイエンスセンター

## II 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

11月 = 33,803百万円

\*前年同月比： 1.3%減

(県内3百貨店、133スーパー合計)

<概況>

11月の大型小売店販売額は33,803百万円で、前年同月比 1.3%減となり、5か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 3.9%減）が2か月ぶり、スーパー（同 0.6%減）が5か月ぶりに前年実績を下回った。

商品別では、飲食料品（同 0.8%増）が8か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 8.0%減）、身の回り品（同 6.6%減）、家庭用品（同 0.1%減）がいずれもが2か月ぶりに前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は 2.6%減となり、5か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
販売額（百万円）	34,501	36,199	34,836	35,398	34,957	32,396	34,291	33,803
前年同月比（%）	6.3	4.0	▲ 0.7	2.5	2.9	2.0	4.4	▲ 1.3
うち 百貨店（%）	16.1	5.0	▲ 0.3	4.0	3.6	▲ 4.9	7.7	▲ 3.9
スーパー（%）	4.2	3.8	▲ 0.8	2.1	2.8	3.6	3.6	▲ 0.6
(参考1) 全国前年同月比（%）	8.6	5.3	▲ 0.3	2.1	1.8	1.7	2.9	▲ 1.5
うち 百貨店（%）	13.7	6.3	0.4	3.6	2.7	1.9	4.2	▲ 2.6
スーパー（%）	6.3	4.8	▲ 0.6	1.2	1.4	1.6	2.3	▲ 0.9
(参考2) 県前年同月比（店舗数調整前）	5.6	2.7	▲ 2.1	1.0	1.8	0.3	3.0	▲ 2.6

(注) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
衣 料 品	8.6	6.2	▲ 7.1	2.5	1.2	▲ 7.2	5.5	▲ 8.0
うち 紳士服・洋品	6.4	7.3	▲ 7.6	5.1	3.3	▲ 7.0	5.4	▲ 9.0
婦人・子供服・洋品	9.2	5.0	▲ 6.9	1.4	0.3	▲ 7.4	5.0	▲ 7.7
身の回り品	8.7	2.0	2.6	13.5	7.9	▲ 0.2	8.5	▲ 6.6
飲食料品	4.4	3.5	0.8	2.2	2.8	4.3	3.7	0.8
家庭用品	11.5	5.7	▲ 0.5	3.5	3.2	▲ 0.5	8.5	▲ 0.1
うち家庭用電気機械器具	28.3	23.7	▲ 7.1	28.1	28.6	14.7	13.9	9.1

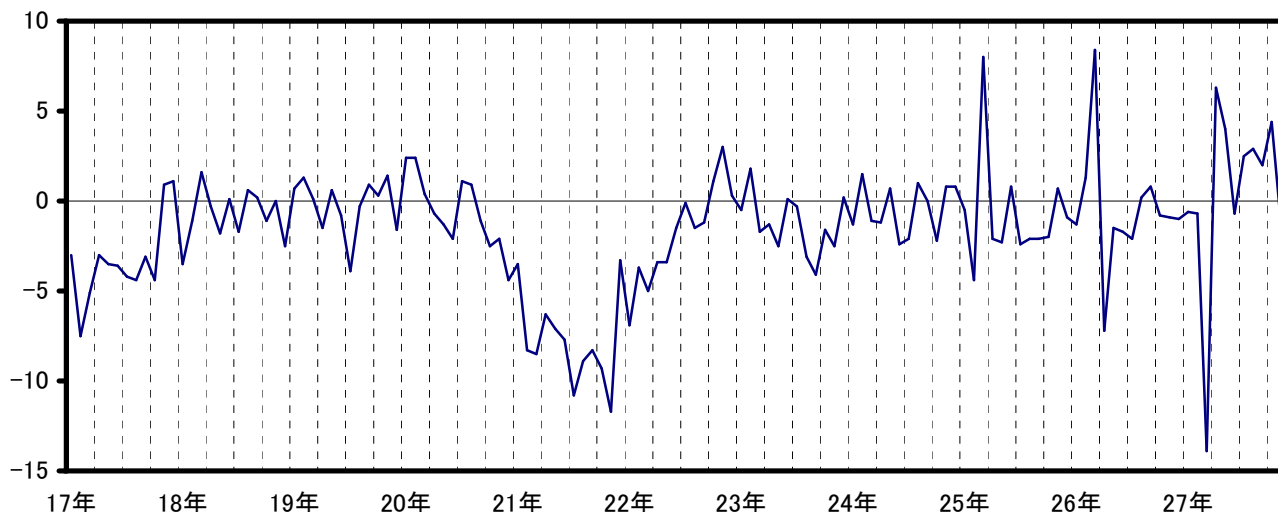
(注) 店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省



## (2) 百貨店販売額

11月 = 6,563百万円

\*前年同月比： 5.2%減

(県内3百貨店販売額)

### <概況>

11月の県内3百貨店の販売額は6,563百万円で、前年同月比 5.2%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

品目別にみると、雑貨（前年同月比 8.5%増）が8か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 12.3%減）、身の回り品（同 6.1%減）、家庭用品（同 2.9%減）、食料品（同 2.4%減）がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
販売額（百万円）	5,876	6,097	6,068	6,976	5,317	5,356	6,365	6,563
前年同月比（%）	14.7	3.6	▲ 1.5	2.8	2.3	▲ 6.0	6.3	▲ 5.2
(参考)全国前年同月比（%）	13.7	6.3	0.4	3.4	2.7	1.8	4.2	▲ 2.7

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

### <品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

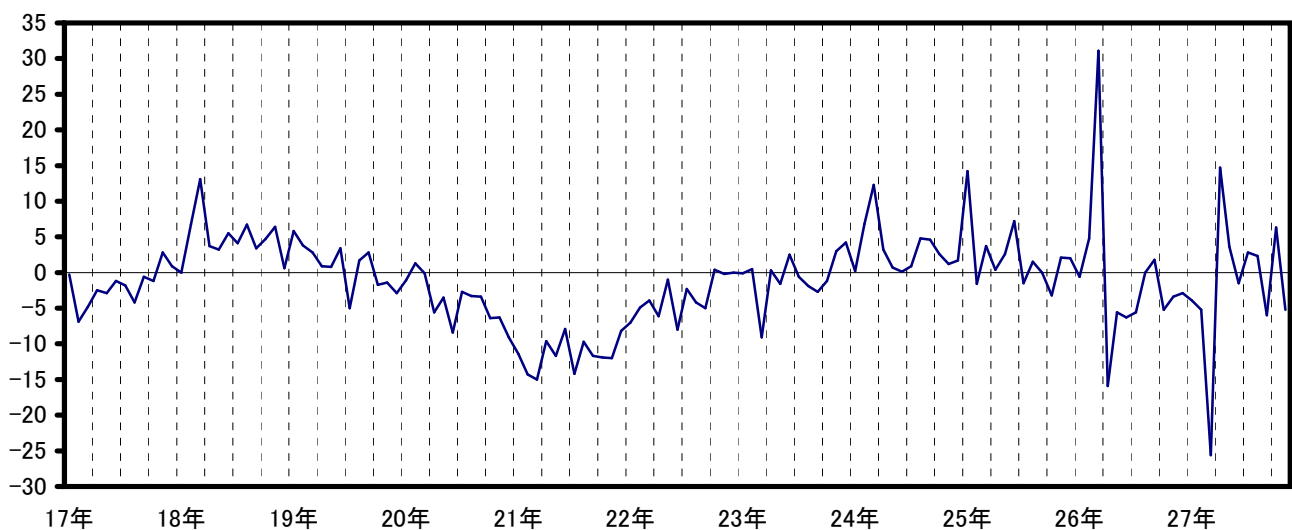
	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
衣料品	11.7	2.8	▲ 8.6	1.2	▲ 4.9	▲ 13.5	1.8	▲ 12.3
うち紳士服・洋品	9.4	4.4	▲ 7.4	4.7	▲ 0.5	▲ 14.4	1.5	▲ 15.6
婦人服・洋品	10.4	1.4	▲ 9.5	0.3	▲ 5.5	▲ 13.6	2.1	▲ 10.8
子供服・洋品	21.6	1.6	▲ 13.0	1.0	▲ 12.0	▲ 6.1	▲ 2.0	▲ 16.8
身の回り品	7.6	0.2	1.0	10.0	5.8	▲ 5.4	9.8	▲ 6.1
家庭用品	47.5	2.1	10.6	▲ 7.1	▲ 9.7	▲ 11.6	15.7	▲ 2.9
食料品	3.4	1.1	▲ 3.0	0.6	▲ 1.0	▲ 2.3	3.6	▲ 2.4
雑貨	47.9	15.2	14.2	13.7	27.7	8.2	16.9	8.5
うち美術・宝飾・貴金属	71.2	25.2	18.9	18.7	55.2	24.3	9.7	10.8

(注)店舗数調整済

### <過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比（%）

<資料>県百貨店協会



**(3) 自動車(新車)新規登録台数** 11月 = 13,034台

\*前年同月比： 7.9%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

11月の自動車(新車)新規登録台数は13,034台(前年同月比 7.9%減)となり、20か月連続で前年実績を下回った。  
 車種別にみると、乗用車(同 0.2%減)が3か月連続、軽自動車(同 15.6%減)が11か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
登録台数(台)	10,372	11,424	14,719	14,211	10,888	15,890	12,880	13,034
前年同月比(%)	▲ 14.2	▲ 6.8	▲ 0.3	▲ 6.9	▲ 3.5	▲ 6.0	▲ 2.6	▲ 7.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 10.1	▲ 8.2	▲ 3.8	▲ 9.1	▲ 3.5	▲ 7.4	▲ 4.0	▲ 7.6

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

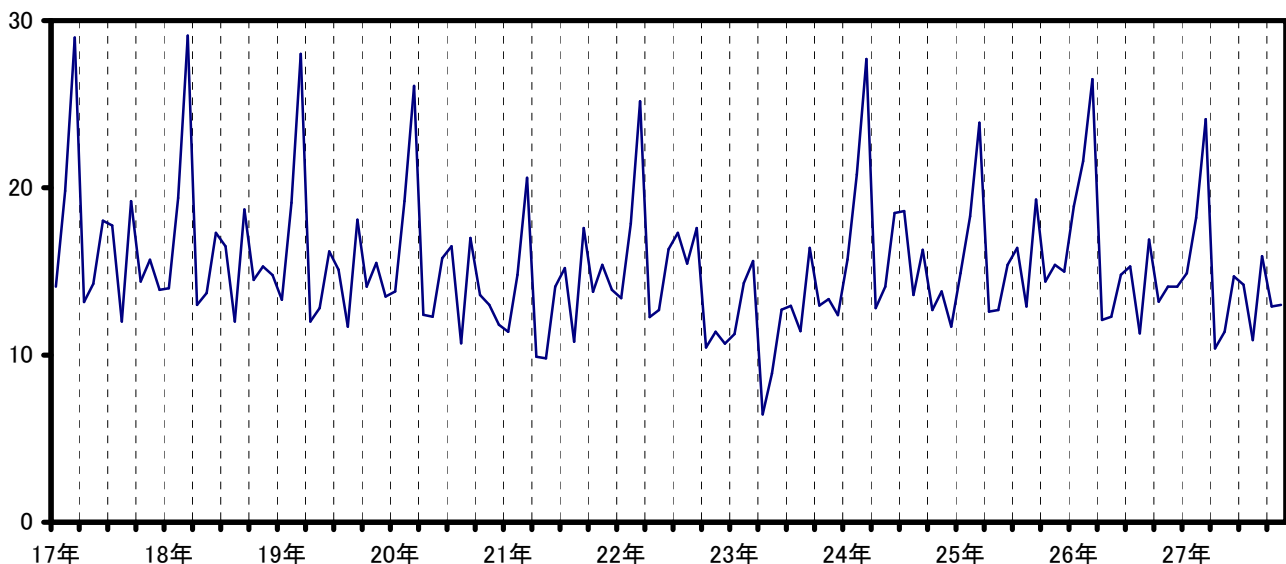
	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全乗用車	▲ 14.2	▲ 6.8	▲ 0.3	▲ 6.9	▲ 3.5	▲ 6.0	▲ 2.6	▲ 7.9
乗用車	▲ 0.4	2.3	7.7	▲ 3.2	1.5	▲ 2.3	▲ 1.0	▲ 0.2
軽自動車	▲ 25.4	▲ 15.7	▲ 8.4	▲ 11.3	▲ 9.2	▲ 10.3	▲ 4.6	▲ 15.6

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車



## 2 新設住宅着工戸数

11月 = 2,280戸

\*前年同月比：29.8%増

### <概況>

11月の新設住宅着工戸数は2,280戸で、前年同月比29.8%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比24.3%増）、貸家（同44.4%増）がいずれも2か月連続、分譲住宅（同17.7%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

### <最近の動き>

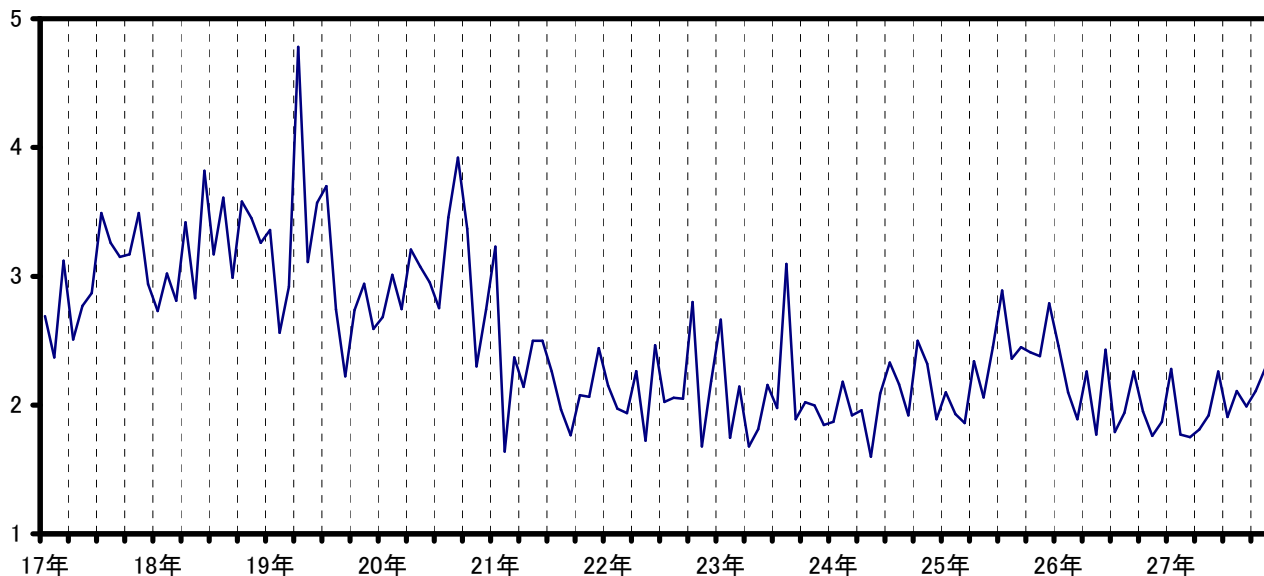
	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
戸数（戸）	1,805	1,915	2,255	1,908	2,105	1,987	2,114	2,280
前年同月比（%）	▲20.2	7.9	▲7.2	6.4	8.3	▲12.1	8.2	29.8
うち持家（%）	▲10.8	▲3.2	18.0	15.9	14.9	▲15.4	5.9	24.3
貸家（%）	▲17.4	9.6	▲33.4	5.2	4.7	▲19.2	19.0	44.4
分譲住宅（%）	▲48.5	69.1	8.3	▲19.3	1.5	7.3	▲1.7	17.7
（参考）全国前年同月比（%）	0.4	5.8	16.3	7.4	8.8	2.6	▲2.5	1.7

<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



### 3 公共工事請負金額

11月 = 15,778百万円

\*前年同月比： 9.2%増

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

11月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は15,778百万円で、前年同月比 9.2%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は744件で、前年同月比 8.6%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
金額（百万円）	39,163	23,823	24,042	30,155	25,705	34,060	32,163	15,778
前年同月比（%）	▲ 1.1	▲ 31.1	▲ 21.7	1.5	11.1	▲ 18.4	52.9	9.2
年度累計前年同月比（%）	▲ 1.1	▲ 15.1	▲ 17.0	▲ 12.9	▲ 9.4	▲ 11.3	▲ 5.2	▲ 4.3
件数（件）	461	363	596	862	792	1,134	940	744
前年同月比（%）	10.0	▲ 23.1	▲ 18.6	▲ 1.6	11.5	▲ 13.7	10.1	8.6
年度累計前年同月比（%）	10.0	▲ 7.5	▲ 12.5	▲ 8.7	▲ 4.2	▲ 7.0	▲ 4.3	▲ 2.8

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

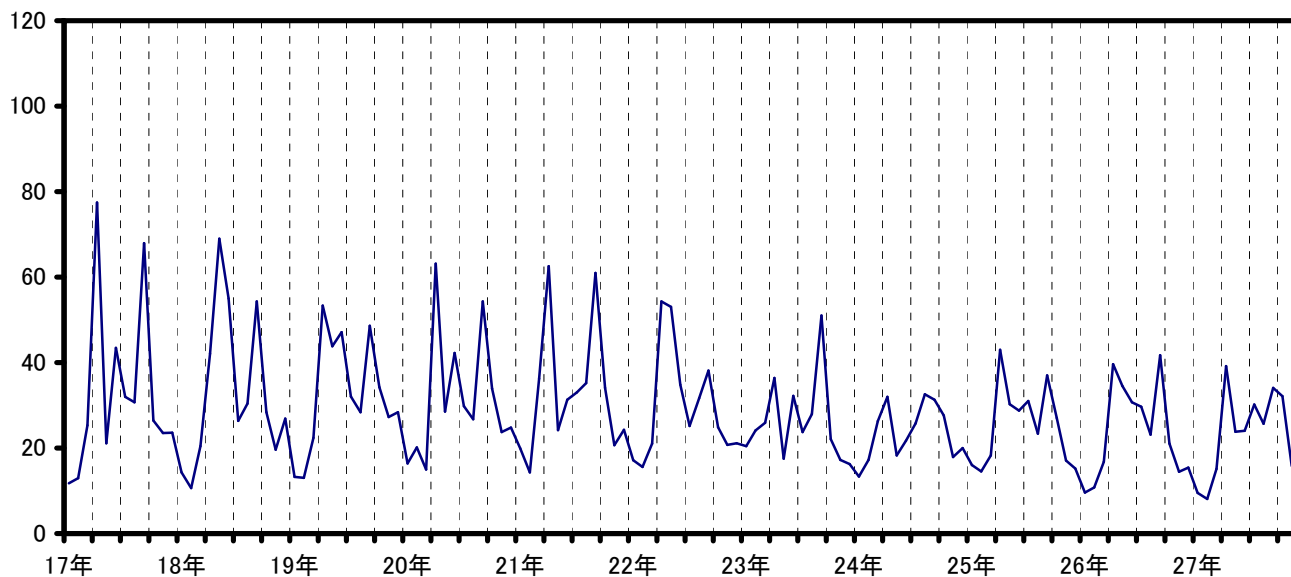
	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
国	▲ 23.5	▲ 47.6	▲ 6.9	17.6	▲ 57.7	▲ 43.1	15.6	▲ 47.4
独立行政法人等	37.9	▲ 1.5	148.1	▲ 47.6	44.8	▲ 59.0	549.5	▲ 71.2
県	▲ 15.7	▲ 57.2	▲ 6.8	20.8	4.4	▲ 23.2	27.3	24.3
市町	▲ 3.0	23.4	▲ 30.2	▲ 13.2	35.6	▲ 5.7	37.2	27.3
地方公社	—	—	▲ 91.8	—	427.1	123.9	166.0	—
その他	83.9	▲ 49.4	▲ 63.7	93.9	59.6	15.9	355.4	4.2

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



## 4 設備投資

### <概況>

平成26年度の設備投資（実績）は、製造業（前年度比 13.8%増）で増加、非製造業（同 3.2%減）では減少となり、全産業（同 4.6%増）では増加となった。

平成27年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 28.9%増）、非製造業（同 9.2%増）でも増加する計画となっており、全産業（同 19.1%増）でも増加する計画となっている。

11月の着工建築物床面積（非居住用）は110,179㎡で、前年同月比 29.4%減となり、12か月連続で前年実績を下回った。

### <企業短期経済観測調査結果>

（前年度比%）

		26年度 （実績）	27年度 （計画）	前回調査 比修正率	上期	前回調査 比修正率	下期 （計画）	前回調査 比修正率	
全 産 業	県	4.6	19.1	▲ 1.9	13.1	▲ 9.3	23.9	4.3	
	全国	4.3	7.8	1.3	4.8	▲ 6.4	10.1	7.9	
	製 造 業	県	13.8	28.9	▲ 3.4	21.1	▲ 16.8	34.2	7.5
		全国	6.8	12.2	▲ 1.1	7.0	▲ 10.5	16.4	7.0
	非 製 造 業	県	▲ 3.2	9.2	▲ 0.1	6.3	▲ 0.4	12.0	0.2
		全国	3.1	5.6	2.7	3.7	▲ 4.2	7.0	8.4

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（平成27年12月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（平成27年12月調査）」

### <最近の動き>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	105,169	99,993	132,924	97,942	90,364	126,652	143,311	110,179
前年同月比（%）	▲ 24.6	▲ 21.3	▲ 24.3	▲ 30.6	▲ 10.1	▲ 33.3	▲ 17.6	▲ 29.4
（参考）全国前年同月比（%）	2.2	4.1	▲ 11.3	0.9	▲ 7.6	▲ 2.0	▲ 22.1	▲ 6.8

（注）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

	27年9月	27年12月	28年3月 （予測）
全 産 業	6	7	1
製 造 業	5	5	1
非 製 造 業	5	9	1
（参考） 全国 ・ 全産業	8	9	3

（注）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（平成27年12月調査）」

## 5 輸出

11月 = 154,145百万円

\*前年同月比： 5.1%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

11月の清水税関支署管内の輸出総額は154,145百万円で、前年同月比 5.1%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 10.4%増）が6か月連続、エアコン（同 20.4%増）が13か月ぶり、科学光学機器（同 48.5%増）が9か月連続で前年実績を上回ったものの、自動車（同 29.2%減）が7か月連続、自動車の部分品（同 4.4%減）が4か月連続、二輪自動車類（同 37.1%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、アジア向け（同 0.2%増）が2か月連続、EU向け（同 0.3%増）が6か月連続で前年実績を上回ったものの、米国向け（同 7.0%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
輸出総額(百万円)	172,324	146,515	169,073	182,005	159,175	169,382	172,315	154,145
前年同月比(%)	▲4.5	▲8.7	6.9	4.3	2.9	0.4	▲1.9	▲5.1

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
原動機	▲0.1	▲8.3	18.1	27.5	32.4	30.6	19.0	10.4
エアコン	▲23.1	▲33.4	▲19.9	▲23.6	▲16.0	▲13.9	▲15.5	20.4
自動車	9.1	▲15.9	▲8.6	▲18.3	▲29.9	▲44.8	▲25.0	▲29.2
自動車の部分品	▲15.3	▲7.5	11.7	5.7	▲10.7	▲12.3	▲10.3	▲4.4
二輪自動車類	2.3	6.0	21.3	▲11.5	10.7	▲19.8	▲24.2	▲37.1
科学光学機器	32.3	43.3	33.1	56.7	43.7	43.2	41.1	48.5

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
アジア	1.5	▲2.1	4.4	8.7	▲4.0	▲0.2	0.1	0.2
米国	▲4.8	▲5.8	5.4	▲1.3	1.8	2.6	▲4.8	▲7.0
EU	▲16.2	▲11.5	16.5	11.2	21.3	13.3	18.1	0.3

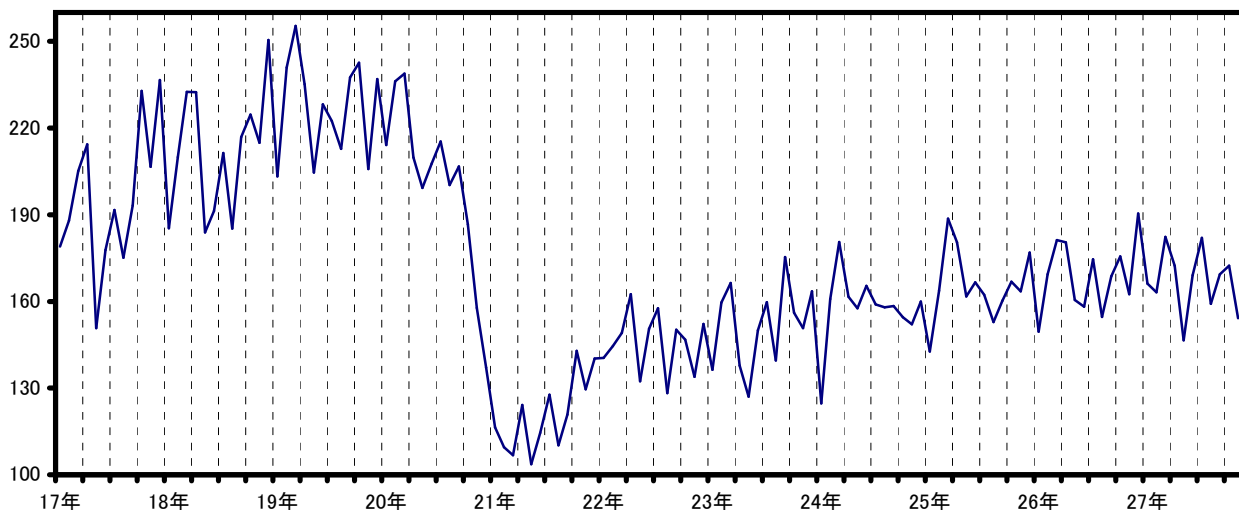
<資料>清水税関支署

(注)管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



## 6 輸入

11月 = 81,599百万円

\*前年同月比： 8.1%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

11月の清水税関支署管内の輸入総額は81,599百万円で、前年同月比 8.1%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、魚介類（前年同月比 1.0%減）が2か月連続、木材（同 5.2%減）が7か月連続、自動車の部分品（同 18.6%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、パルプ（同 35.4%増）が2か月連続、紙類及び同製品（同 23.9%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別では、アジアから（同 2.6%増）、米国から（同 80.8%増）がいずれも2か月連続、EUから（同 2.3%増）が5か月ぶりに前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
輸入総額(百万円)	89,792	79,568	81,813	86,311	78,819	81,507	85,185	81,599
前年同月比(%)	1.2	▲ 2.4	▲ 6.4	6.5	0.1	▲ 7.8	▲ 3.5	8.1

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
魚 介 類	28.4	17.8	3.1	▲ 2.7	▲ 3.9	7.9	▲ 18.1	▲ 1.0
木 材	3.1	▲ 12.8	▲ 26.1	▲ 17.3	▲ 6.8	▲ 14.2	▲ 35.8	▲ 5.2
パ ル プ	▲ 4.4	▲ 21.1	23.1	5.7	61.5	▲ 26.2	22.5	35.4
紙 類 及 び 同 製 品	▲ 10.1	▲ 11.8	▲ 17.1	19.5	7.4	▲ 17.7	▲ 5.1	23.9
原 動 機	▲ 47.3	▲ 67.0	▲ 68.2	9.4	▲ 0.2	17.8	▲ 10.9	0.0
自 動 車 の 部 分 品	83.3	14.8	2.8	▲ 5.1	▲ 26.3	▲ 12.0	12.6	▲ 18.6

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

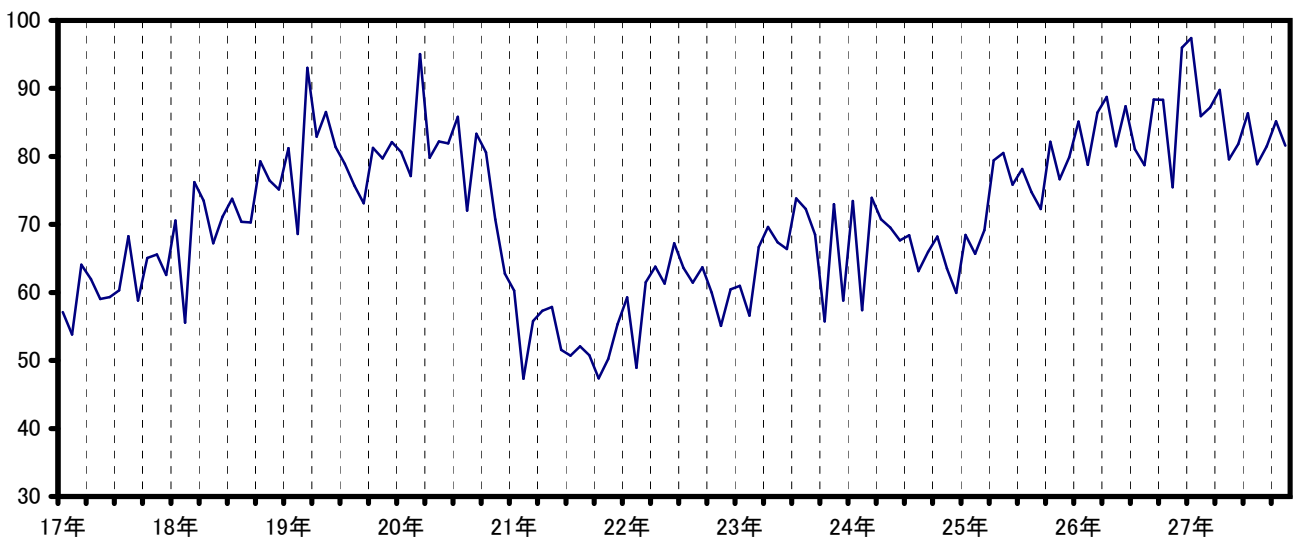
	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ア ジ ア	3.2	▲ 5.7	▲ 8.2	11.4	5.7	▲ 12.0	4.8	2.6
米 国	11.4	▲ 1.4	23.1	36.1	4.0	▲ 26.0	41.5	80.8
E U	6.9	18.7	3.6	▲ 10.0	▲ 7.3	▲ 8.8	▲ 19.8	2.3

<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



# 生 産 面

## 1 生 産

### (1) 産業用大口電力消費量

11月 = 958,512千kWh

\*前年同月比 2.6%減

(東京電力、中部電力合計)

#### <概 況>

11月の産業用大口電力消費量は958,512千kWhで、前年同月比 2.6%減となり、16か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、電気機械（前年同月比 2.9%増）が2か月ぶり、化学（同 1.9%増）が3か月ぶり、食品（同 5.6%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、一般機械（同 1.5%減）が16か月連続、輸送機械（同 5.2%減）が11か月連続、パルプ・紙・紙加工品（同 7.2%減）が13か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
消費量(千kWh)	960,359	931,767	1,012,146	1,078,696	974,589	1,020,566	996,563	958,512
前年同月比(%)	▲2.8	▲5.7	▲4.0	▲3.8	▲2.3	▲2.8	▲4.1	▲2.6
全国10社前年同月比(%)	▲2.0	▲3.3	▲2.8	▲1.7	▲2.0	▲3.3	▲3.6	▲2.6

\*産業用大口電力消費量=契約電力 500kW以上

<資料>東京電力、中部電力、電気事業連合会

#### <県内産業別大口電力消費量前年同月比の推移>

(単位：%)

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
一般機械工業	▲4.7	▲3.0	▲5.8	▲7.4	▲1.0	▲1.3	▲5.0	▲1.5
電気機械工業	3.1	▲2.6	▲0.8	▲0.7	2.5	0.8	▲0.7	2.9
輸送機械工業	▲1.9	▲7.8	▲5.2	▲6.0	▲6.5	▲5.1	▲7.5	▲5.2
化学工業	▲2.8	▲12.2	▲4.8	▲1.0	0.4	▲1.2	▲2.3	1.9
パルプ・紙・紙加工品工業	▲8.6	▲10.1	▲11.3	▲11.3	▲6.5	▲8.6	▲9.9	▲7.2
食品工業	0.7	0.3	0.9	3.4	3.3	3.3	▲0.1	5.6

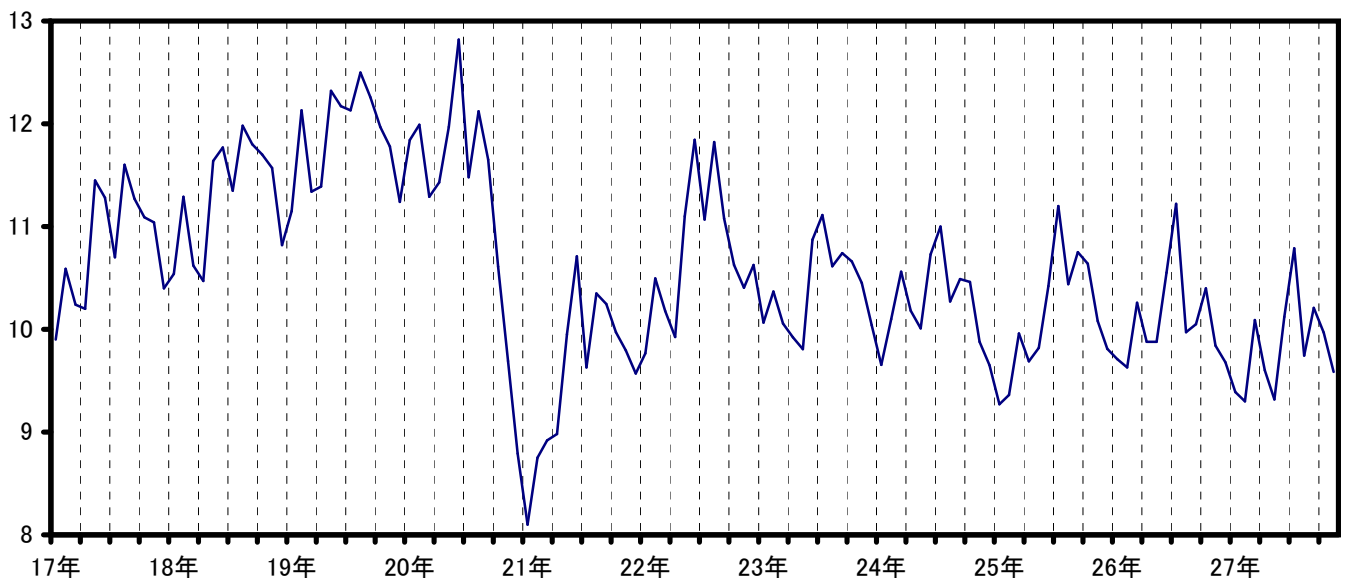
\*産業用大口電力消費量=契約電力 500kW以上

<資料>東京電力、中部電力

#### <過去10年間の推移>

産業用大口電力消費量(億kWh)

<資料>東京電力、中部電力



## (2) 鋳工業生産指数

10月 = 90.1

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 0.2%減

\*前年同月比(原指数) : 4.6%減

### <概況>

10月の鋳工業生産指数(総合)は90.1(季節調整済指数)で、前月比0.2%減となり、2か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は4.6%減と4か月連続で前年水準を下回った。

業種別にみると、化学(前年同月比10.7%増)が5か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同0.1%減)が4か月連続、電気機械(同2.0%減)が2か月ぶり、輸送機械(同16.2%減)が8か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同1.0%減)が3か月ぶり、食料品・たばこ(同1.1%減)が6か月ぶりに前年水準を下回った。

### <最近の動き>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指数	98.7	95.3	93.2	92.7	90.0	89.9	90.3	90.1
前月比(%)	2.1	▲3.4	▲2.2	▲0.5	▲2.9	▲0.1	0.4	▲0.2
前年同月比(%)	▲1.6	▲1.7	▲4.2	0.5	▲3.9	▲1.9	▲2.1	▲4.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.2	▲0.1	▲4.0	2.0	0.2	0.2	▲0.9	▲1.4

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鋳工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
はん用・生産用・業務用機械工業	2.6	4.3	▲5.4	10.4	▲10.8	▲3.8	▲9.7	▲0.1
電気機械工業	▲10.8	2.3	▲4.2	2.4	▲4.2	▲4.8	3.5	▲2.0
輸送機械工業	▲2.7	▲4.6	▲16.0	▲10.5	▲11.0	▲10.7	▲11.4	▲16.2
化学工業	5.9	▲1.6	▲5.2	11.1	7.9	13.5	9.7	10.7
パルプ・紙・紙加工品工業	▲2.0	▲3.4	▲8.2	0.3	▲6.0	3.3	1.1	▲1.0
食料品・たばこ工業	▲2.3	▲3.0	23.2	8.3	7.5	9.7	10.4	▲1.1

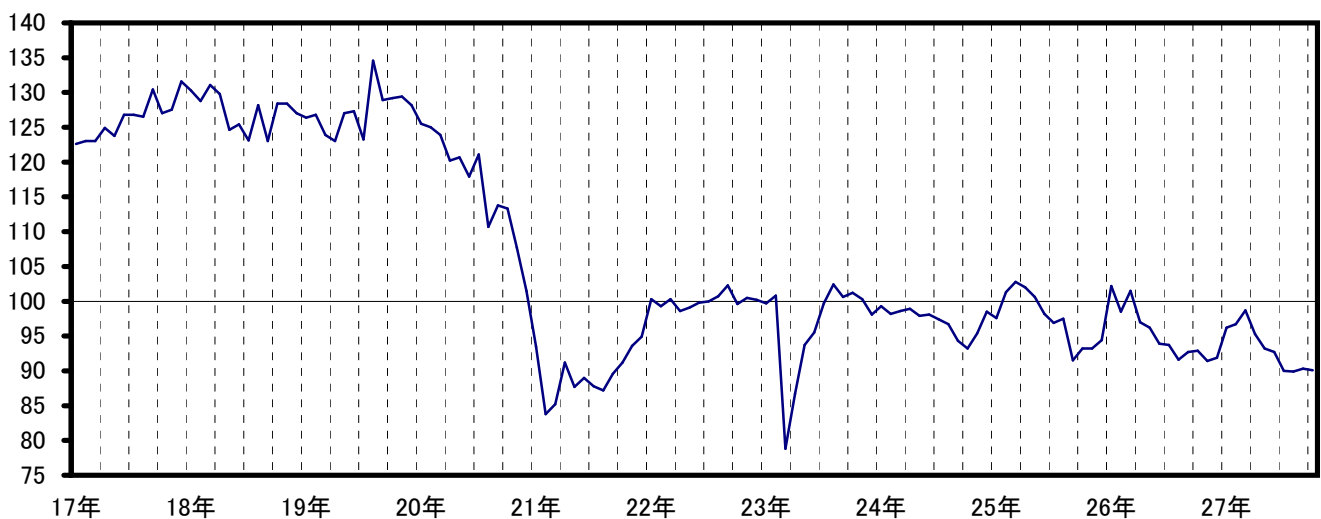
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鋳工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



### (3) 鋳工業在庫指数

10月 = 120.4

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 3.1%増

\*前年同月比(原指数) : 16.1%増

#### <概況>

10月の鋳工業在庫指数(総合)は120.4(季節調整済指数)で、前月比は3.1%増と3か月連続で前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は16.1%増と8か月連続で前年水準を上回った。なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比5.4%減)が7か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同17.1%増)が22か月連続、輸送機械(同114.2%増)が9か月連続、化学(同17.6%増)が3か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同6.1%増)が2か月連続、食料品・たばこ(同3.2%増)が3か月ぶりに前年水準を上回った。

#### <最近の動き>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指数	112.2	112.7	111.6	118.9	115.2	116.6	116.8	120.4
前月比(%)	8.3	0.4	▲1.0	6.5	▲3.1	1.2	0.2	3.1
前年同月比(%)	6.5	10.8	3.6	5.9	5.3	8.2	11.3	16.1
(参考)全国前年同月比(%)	6.1	6.3	3.9	3.9	2.7	2.2	2.0	0.2

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
はん用・生産用・業務用機械工業	2.6	▲0.6	▲6.2	▲2.0	▲8.0	▲1.7	▲7.0	▲5.4
電気機械工業	28.2	32.3	29.8	29.6	20.5	16.9	26.0	17.1
輸送機械工業	17.2	82.5	20.7	25.9	57.9	73.6	104.6	114.2
化学工業	1.8	4.2	▲6.8	▲6.8	▲6.6	3.5	10.0	17.6
パルプ・紙・紙加工品工業	11.7	7.9	1.8	0.0	▲3.4	▲0.3	3.0	6.1
食料品・たばこ工業	20.2	23.1	7.3	5.5	6.9	▲1.8	▲7.9	3.2

(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課





# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**11月 = 1.25倍**

\*前月比（季節調整値）：0.01ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

#### <概況>

11月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.25倍となり、前月を0.01ポイント上回った。また、2か月連続で全国値に並んだ。

新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比3.2%増）は2か月ぶりに前年実績を上回った。

これを産業別にみると、情報通信業（同17.2%減）、医療・福祉（同2.2%減）で前年実績を下回ったものの、建設業（同2.0%増）製造業（同6.7%増）、運輸業・郵便業（同0.8%増）、卸売業・小売業（同10.5%増）、サービス業（他に分類されないもの）（同0.3%増）で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

（単位：倍）

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
県	1.13	1.15	1.16	1.16	1.18	1.19	1.24	1.25
全 国	1.17	1.19	1.19	1.21	1.23	1.24	1.24	1.25

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建 設 業	▲ 4.4	▲ 5.2	15.5	7.1	0.1	10.7	2.4	2.0
製 造 業	▲ 0.3	▲ 6.5	▲ 2.7	10.5	3.5	▲ 3.2	▲ 0.7	6.7
情 報 通 信 業	34.2	▲ 9.4	▲ 18.1	9.8	17.5	1.8	21.4	▲ 17.2
運 輸 業 ・ 郵 便 業	0.3	▲ 17.4	1.3	▲ 3.2	▲ 9.7	3.8	5.1	0.8
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 22.3	11.5	33.9	1.4	▲ 28.4	▲ 2.1	▲ 1.3	10.5
医 療 ・ 福 祉	▲ 8.4	9.9	0.8	▲ 16.6	13.1	▲ 6.5	▲ 12.5	▲ 2.2
サービス業（他に分類されないもの）	▲ 9.9	▲ 17.3	16.1	7.5	2.9	20.4	11.5	0.3
合 計	▲ 5.2	▲ 3.3	5.7	▲ 2.3	0.4	3.5	▲ 1.2	3.2

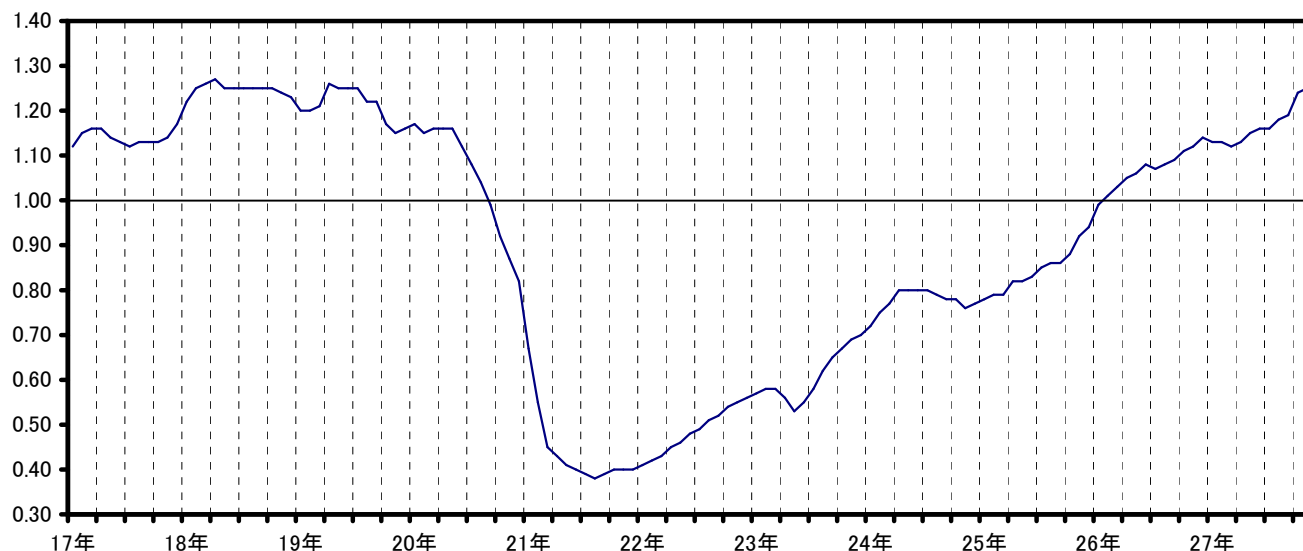
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

11月 = 12,991人

\*前月比: 5.5%減

\*前年同月比: 8.3%減

<概況>

11月の雇用保険受給者実人員は12,991人で、前月比は5.5%減と4か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は8.3%減と28か月連続で前年実績を下回った。  
 完全失業率(全国)は3.3%で、前月から0.2ポイント悪化した。  
 静岡県(平成27年7~9月)の完全失業率は2.7%で、前期(27年4~6月)と同水準だった。

<最近の動き>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
実人員(人)	12,750	13,771	14,561	14,967	14,815	14,542	13,753	12,991
前月比(%)	▲1.4	8.0	5.7	2.8	▲1.0	▲1.8	▲5.4	▲5.5
前年同月比(%)	▲6.4	▲8.7	▲4.7	▲5.4	▲5.1	▲6.4	▲12.1	▲8.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲6.5	▲12.6	▲5.8	▲8.2	▲5.9	▲7.1	▲7.3	▲3.4

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
完全失業率(全国)(%)	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.1	3.3

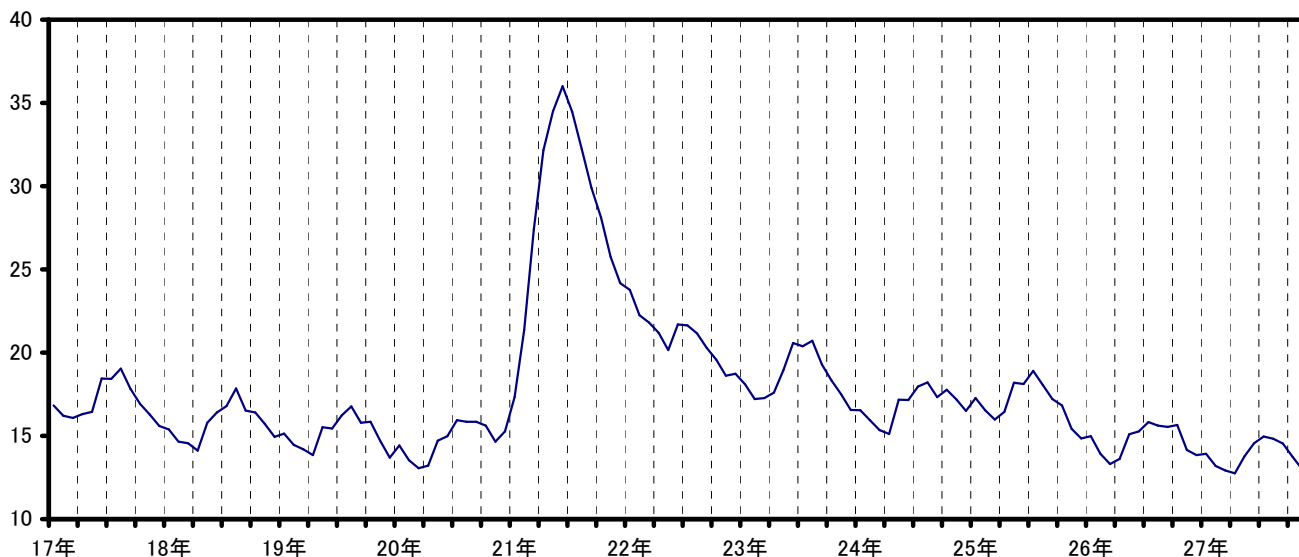
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



### (3) 所定外労働時間指数

10月 = 113.7

\* 前月比(季節調整済指数) : 1.7%増

(平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \* 前年同月比(原指数) : 6.3%増

#### <概況>

10月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は113.7(季節調整済指数)で、前月比1.7%増となった。また、前年同月比(原指数)は6.3%増となり、2か月連続で前年水準を上回った。

業種別にみると、運輸業・郵便業(前年同月比1.0%減)が2か月連続、卸売業・小売業(同7.1%減)が9か月連続、その他サービス業(同9.0%減)が2か月ぶりに前年水準を下回ったものの、建設業(同8.8%増)が2か月連続、製造業(同11.2%増)が6か月連続、情報通信業(同10.3%増)が7か月連続、医療・福祉(同36.7%増)が2か月ぶりに前年水準を上回った。

#### <最近の動き>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指数	111.6	107.4	102.0	106.1	104.5	104.7	111.8	113.7
前月比(%)	▲1.5	▲3.8	▲5.0	4.0	▲1.5	0.2	6.8	1.7
前年同月比(%)	▲1.7	▲1.1	▲1.8	0.3	4.1	▲2.1	2.8	6.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.9	▲1.2	▲1.2	0.3	▲0.5	0.2	1.0	0.0

\*平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
建設業	38.6	50.3	▲18.0	2.1	▲7.1	▲21.1	9.9	8.8
製造業	1.7	▲2.4	1.5	3.0	6.6	6.7	6.3	11.2
情報通信業	▲2.1	46.6	1.4	41.1	69.3	7.9	23.4	10.3
運輸業・郵便業	4.5	▲2.4	▲4.4	10.8	▲6.4	0.4	▲9.1	▲1.0
卸売業・小売業	▲20.1	▲19.4	▲13.0	▲9.7	▲18.0	▲12.6	▲13.0	▲7.1
医療・福祉	▲3.1	▲1.3	▲1.1	▲4.3	18.0	20.1	▲7.6	36.7
その他のサービス業	▲28.4	▲8.7	▲5.4	▲24.0	▲14.1	▲23.0	15.9	▲9.0
調査産業計	▲1.7	▲1.1	▲1.8	0.3	4.1	▲2.1	2.8	6.3

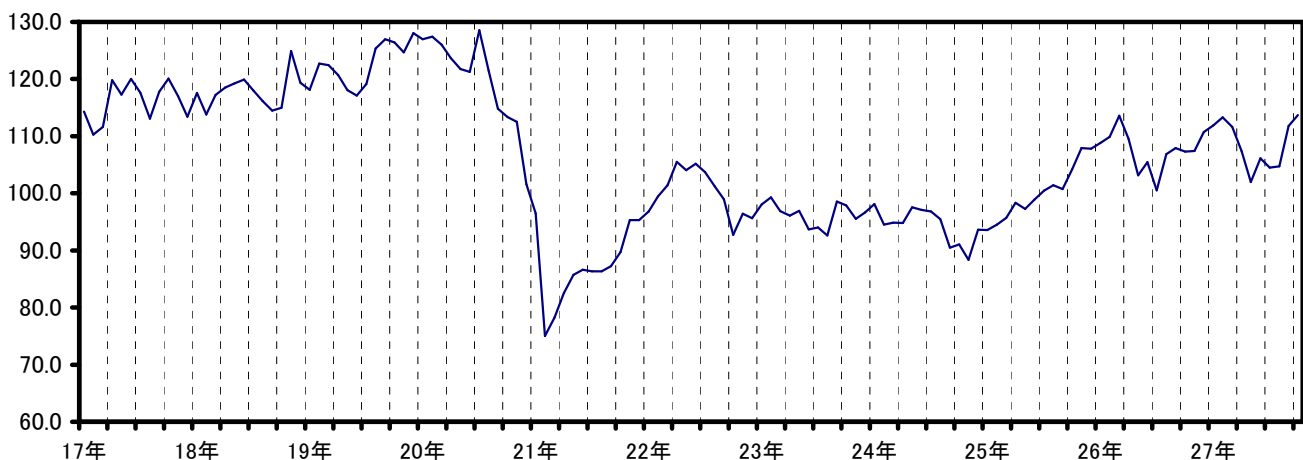
\*平成22年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### (1) 国内企業物価指数

12月 = 101.1

\*前月比: 0.3%下落

\*前年同月比: 3.4%下落

(平成22年=100)

<概況>

12月の国内企業物価指数は101.1となり、前月比は0.3%の下落となった。また、前年同月比は3.4%の下落となった。

<最近の動き>

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国内企業物価指数	103.8	103.6	103.4	102.7	102.1	101.5	101.4	101.1
前月比 (%)	0.2	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.1	▲ 0.3
前年同月比 (%)	▲ 2.2	▲ 2.4	▲ 3.1	▲ 3.6	▲ 4.0	▲ 3.8	▲ 3.6	▲ 3.4

\*平成22年=100

<資料>日本銀行

#### (2) 消費者物価指数(総合)

12月 = 103.1

\*前月比: 同水準

\*前年同月比: 0.2%上昇

(平成22年=100)

<概況>

12月の消費者物価指数(総合)は103.1となり、前月比は同水準となった。また、前年同月比は0.2%の上昇となった。

<最近の動き>

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
消費者物価指数	104.0	103.8	103.5	103.7	103.8	103.5	103.1	103.1
前月比 (%)	0.3	▲ 0.2	▲ 0.3	0.2	0.1	▲ 0.3	▲ 0.4	0.0
前年同月比 (%)	0.5	0.3	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1	0.1	0.1	0.2

\*平成22年=100

<資料>県統計調査課

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

11月 = 134,046億円

\*前月比: 0.3%増

\*前年同月比: 1.7%増

(銀行、信用金庫)

<概況>

11月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は134,046億円で、前月比は0.3%増、前年同月比は1.7%増となった。

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
貸出残高(億円)	132,750	132,694	132,695	132,387	132,356	134,850	133,704	134,046
前月比 (%)	▲ 1.4	0.0	0.0	▲ 0.2	0.0	1.9	▲ 0.8	0.3
前年同月比 (%)	2.8	2.6	1.9	1.5	1.4	1.6	2.0	1.7

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

11月 = 2.168%

\*前月差: 0.002ポイント増

\*前年同月差: 0.042ポイント増

(県内地銀4行総平均)

<概況>

11月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.168%で、前月から0.002ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.042ポイントのプラスとなった。

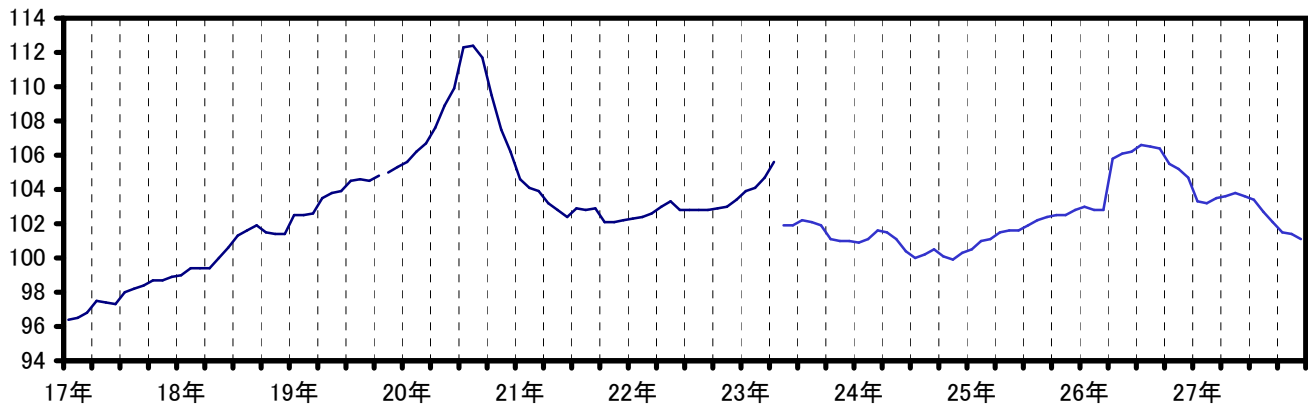
	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
貸出約定金利 (%)	2.137	2.137	2.153	2.159	2.162	2.148	2.166	2.168
前月差(ポイント)	0.013	0.000	0.016	0.006	0.003	▲ 0.014	0.018	0.002
前年同月差(ポイント)	0.039	0.044	0.077	0.067	0.050	0.039	0.042	0.042

<資料>日本銀行静岡支店

＜過去10年間の推移＞

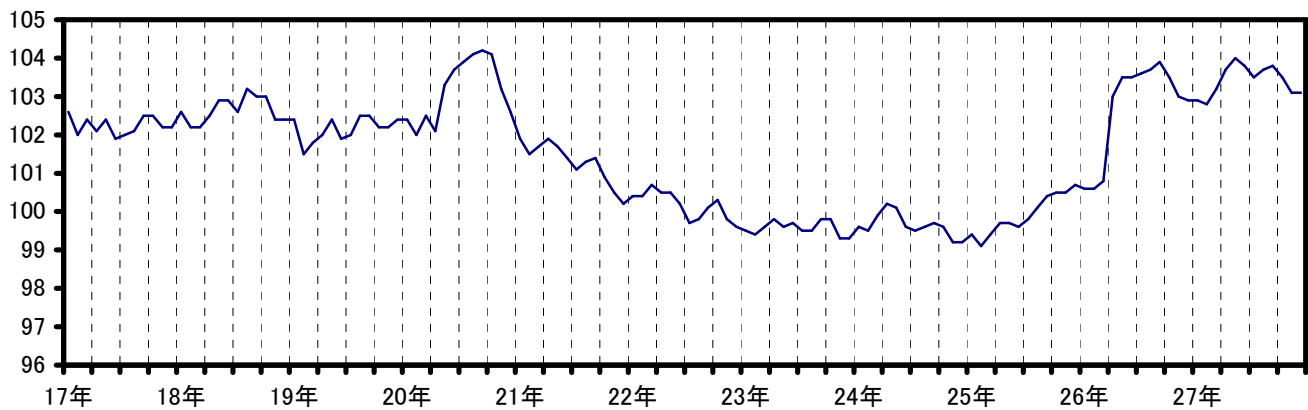
国内企業物価指数(平成22年=100)

＜資料＞日本銀行



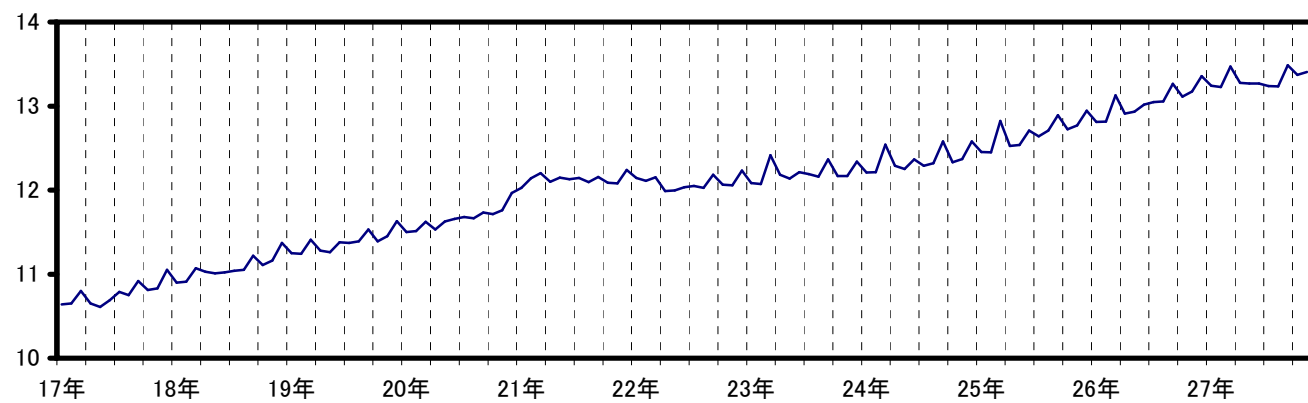
消費者物価指数(平成22年=100)

＜資料＞県統計調査課



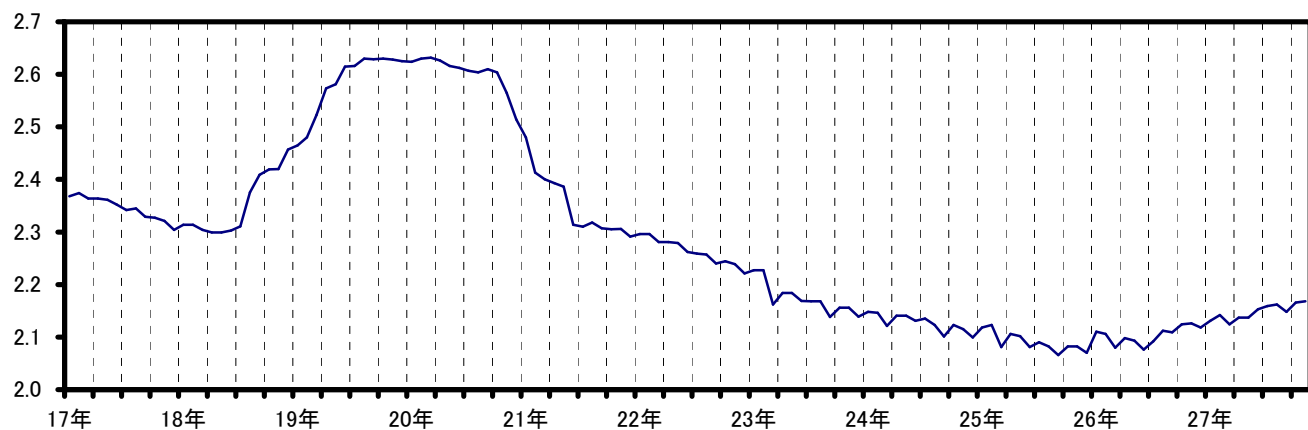
県内金融機関貸出残高(兆円)

＜資料＞日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

＜資料＞日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****11月 = 19,298百万円**

\*前年同月比： 8.9%減

## &lt;概況&gt;

11月の保証承諾は、金額が19,298百万円（前年同月比 8.9%減）と37か月連続で前年実績を下回り、件数は2,015件（同 6.9%減）と8か月連続で前年実績を下回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
保証金額（百万円）	16,893	17,308	23,995	22,004	20,360	25,925	19,867	19,298
前年同月比（%）	▲ 1.3	▲ 22.6	▲ 5.8	▲ 14.0	▲ 5.8	▲ 2.3	▲ 5.1	▲ 8.9
保証件数（件）	1,857	1,956	2,639	2,365	2,233	2,635	2,142	2,015
前年同月比（%）	▲ 4.1	▲ 16.7	▲ 2.6	▲ 13.5	▲ 2.5	▲ 6.8	▲ 2.9	▲ 6.9

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****12月 = 121.84円/ドル**

\*前月差： 0.70円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

\*前年同月差： 2.44円安

## &lt;概況&gt;

12月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は121.84円で、前月と比べて0.70円の円高となり、2か月ぶりの円高となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均相場（円）	120.74	123.75	123.23	123.23	120.22	120.06	122.54	121.84
前月差（円）	1.19	3.01	▲ 0.52	0.00	▲ 3.01	▲ 0.16	2.48	▲ 0.70
前年同月差（円）	18.95	21.70	21.51	20.27	13.13	12.00	6.32	2.44

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****12月 = 19件**

\*前年同月比： 13.6%減

## &lt;概況&gt;

12月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は19件、負債総額は3,548百万円でいずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、既往のシワ寄せ、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が13件と全体の68.4%を占め、217か月連続して50%以上となっている。

## &lt;最近の動き&gt;

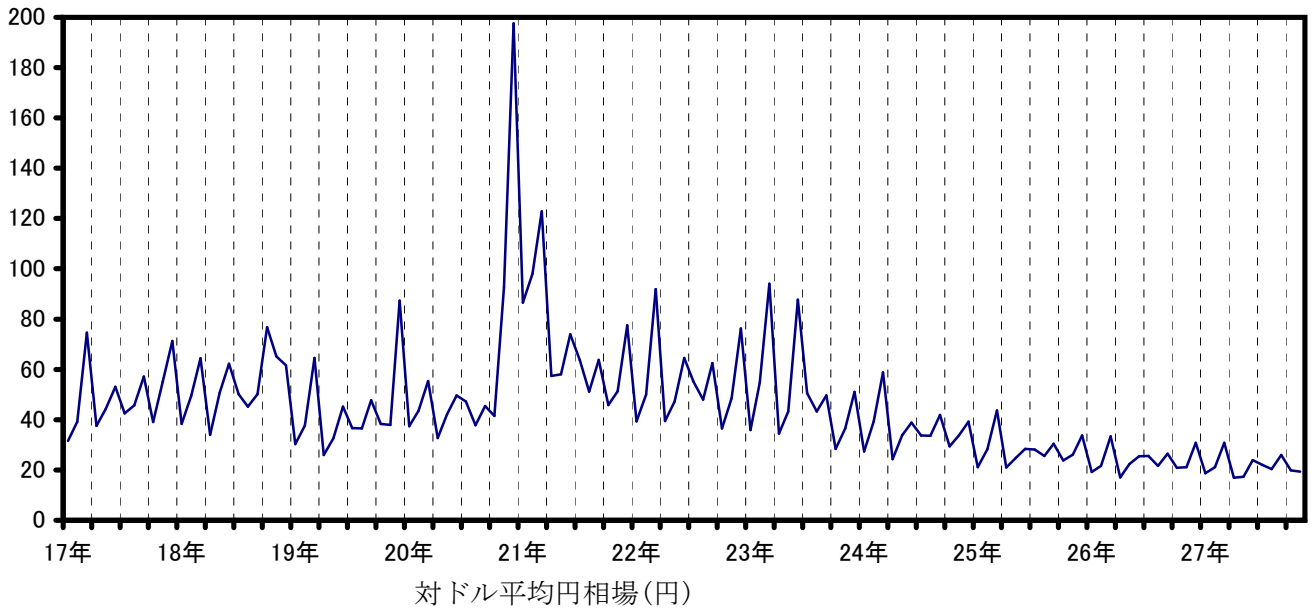
	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
倒産件数（件）	21	21	23	18	27	18	24	19
前年同月比（%）	10.5	▲ 32.2	▲ 17.8	▲ 28.0	▲ 12.9	▲ 40.0	0.0	▲ 13.6
うち不況型倒産件数(件)	13	16	19	16	19	15	20	13
負債総額（百万円）	2,878	8,601	3,985	1,899	3,341	3,590	5,366	3,548
前年同月比（%）	▲ 6.7	112.0	▲ 5.2	▲ 59.5	▲ 56.5	12.7	82.8	▲ 11.6

&lt;資料&gt;(株)東京商工リサーチ静岡支社

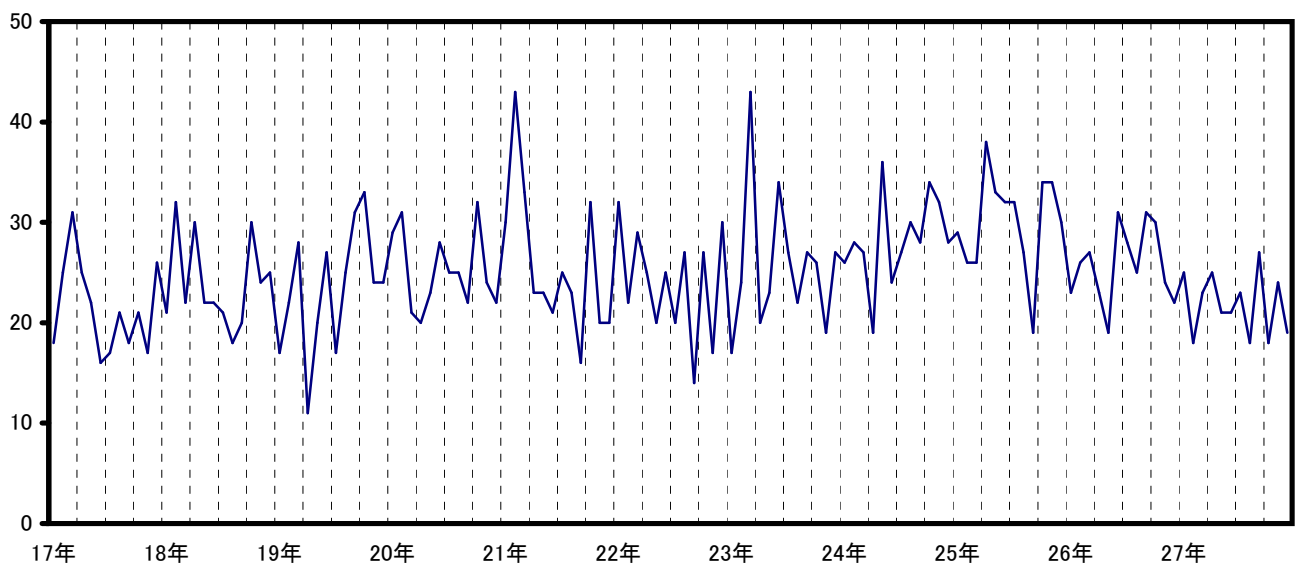
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



### Ⅲ 平成27年11月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車 二輪車部品	<p>11月の国内二輪車生産台数は、46,453台（前年同月比11.9%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは25,541台（同20.6%減）で、2か月連続で前年実績を下回ったが、車種別では、前月に引き続き、軽二輪車（126～250cc以下）は3,153台（同22.0%増）と好調であった。</p> <p>輸出向けは、33,080台（同23.0%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。特に、北米向けが10,287台（同45.4%減）と低調であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>11月の自動車国内生産台数は788,344台（前年同月比 6.0%増）となり、17か月ぶりに前年実績を上回った。また、輸出は414,870台（同 12.7%増）となり、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が前年実績を上回ったことから、全体でも17か月ぶりに前年実績を上回っている。</p> <p>輸出は、アジア向け、欧州向けがいずれも2か月連続、北米向けが9か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>11月の冷蔵庫の国内出荷額は255億2,700万円（前年同月比 8.4%減）と7か月ぶりに前年実績を下回った。国内出荷台数も223千台（同13.0%減）で、先月の増加から減少に転じ、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>11月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは387千台（同13.1%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。業務用は、58千台（同 2.8%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>10月の携帯電話と公衆用PHSを合わせた移動電話の国内出荷台数は、冬春モデルの出荷が始まったことで、1,650千台（同14.1%増）と先月の減少から増加に転じ、2か月ぶりに前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、890千台（同16.7%増）となり、単月のスマートフォン比率は53.9%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用 機械	<p>11月の工作機械の受注総額は、1,143億9,200万円（前年同月比17.7%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は689億2,800万円（同23.4%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。特に、アジア向けが287億3,100万円（同37.9%減）と低調であった。</p> <p>また、内需も454億6,400万円（同 7.3%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。長らく前年実績を上回ってきた自動車業界向けも、159億2,400万円（同 0.1%減）と28か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>一方、県内中小企業からは、省力化設備などの国内需要は見られるものの、海外の景気減速傾向から増産は先送り状態であるとの声も聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>



業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>11月の県内楽器メーカーの販売金額は、57億1,200万円（前年同月比10.9%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが29億9,900万円（同16.9%増）で、国内向けが27億1,300万円（同 5.0%増）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,757台（同 1.6%増）であった。機種別では、アップライトピアノが1,821台（同 5.6%増）、グランドピアノが936台（同 5.5%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,733台（同 2.9%減）、国内向けが1,404台（同 0.7%増）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>11月の紙・板紙の国内出荷高は、2,119千ト（前年同月比 0.2%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は、紙は1,160千ト（同 1.7%減）で、20か月連続で前年実績を下回り、板紙は959千ト（同 2.6%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、645千ト（同 1.5%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、147千ト（同 1.3%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会</p>
缶 詰 ・ 飲 料	<p>11月の県内生産量は、食缶類が国内向け966千箱（前年同月比12.8%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は740千箱（同11.2%増）と10か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶も545千箱（同10.8%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は226千箱（同18.1%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,770千箱（同 2.5%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>平成27年11月の広幅織物の県内生産は、1,796千㎡（前年同月比13.7%増）であった。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,749千㎡（同13.8%増）であり、別珍・コールテンの生産は、47千㎡（同 9.9%増）であった。</p> <p>小幅織物の県内生産は、41千㎡（同14.4%増）であった。</p> <p>11月は、前年同月比が全調査項目で増加となった。引き続き、県内外そして海外へと各種展示会への出展による新規需要・販路開拓を図っている。11月は、東京都内で開催された、「JFWジャパングリエーション」（繊維総合見本市）及び「テキスタイルネットワーク・ジャパン」に県内の複数の企業が出展した。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>

業 種	産 業 動 向
家 具	<p>11月の全国百貨店での家具販売額は、62億600万円（前年同月比 0.5%増）、また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、541億4,000万円（同 0.8%増）であった。</p> <p>県内業界では、11月に東京で開催された家具やインテリア雑貨等の国際見本市「IFFT/interiorlifestyle living 2015」に出展するなど、販路拡大に取り組んでいる。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、地域産業課</p>
小 売 業	<p>11月の県内百貨店の売上高は、訪日外国人の増加を背景に、美術・宝飾・貴金属などの高額商品や化粧品が好調となったが、前年と比べて土曜日が1日少なかったことや、平均気温が高かったことにより主力の冬物衣料が苦戦したため、前年同月比でマイナスとなった。</p> <p>ある百貨店では、研修に訪れる訪日外国人の誘客を促進するため、地元企業に対する免税クーポンの配布や、旅行代理店と連携したツアー客の誘致などの取組があった。</p> <p>ある食品スーパーからは、野菜の相場高などで客単価は上がったが、前年と比べて土曜日が1日少なかったことや、平均気温が高く鍋物商材が不調となったことなどにより、11月の売上げは前年同月比でマイナスとなったという声が聞かれた。</p> <p>11月の県内では、県に登録された「ふじのくに魅力ある個店」33店舗において、個店のPR及び新規顧客獲得のため、個店の店主やスタッフが塾長となり、プロならではの専門知識やコツなどを無料で教える「個店塾」が開催された。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>11月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約39万人で、前年同月比1.7%減となった。天候不順が続き、後半の3連休も雨天となったことが影響した。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約69万台と前年同月比1.4%減となり、観光施設同様微減となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

## = IVデータからみた県内主要産業 =

### <二輪車>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
完成車生産台数(台)	21,577	15,496	13,721	13,417	17,148	15,097	18,771	19,604	17,245
前年同月比(%)	6.4	17.1	▲5.0	▲2.6	▲12.3	▲8.1	▲7.6	▲22.5	▲21.9
KD輸出額(百万円)	1,030	1,020	937	822	913	708	794	1,018	724
前年同月比(%)	17.5	▲16.7	▲11.3	▲32.0	▲17.8	▲26.0	▲37.3	▲36.8	▲37.1

### <楽 器>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
生産総額(百万円)	3,662	3,946	3,720	4,264	4,255	3,254	3,696	4,138	3,654
前年同月比(%)	17.1	▲12.5	▲14.8	▲9.3	▲10.6	▲2.4	▲4.0	7.6	6.6

### <缶詰>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
食缶生産高(千ケース)	930	925	893	1,059	1,008	859	910	976	968
前年同月比(%)	▲4.8	▲3.7	▲2.8	16.9	3.9	▲1.8	4.2	8.1	12.7
うち水産缶詰(%)	2.7	1.9	3.7	17.0	5.2	4.0	10.3	6.8	11.2
農畜産缶詰(%)	▲24.1	▲19.4	▲21.0	16.4	▲0.1	▲19.0	▲14.5	12.4	18.1
飲料缶生産高(千ケース)	6,976	7,891	7,820	8,765	8,637	7,172	7,133	6,316	6,770
前年同月比(%)	▲18.6	▲9.6	▲15.6	▲3.7	▲3.5	▲12.5	15.6	1.0	▲2.5

### <織 維>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
広幅織物(千㎡)	1,519	1,519	1,222	1,225	1,149	1,098	1,348	1,515	1,796
前年同月比(%)	▲3.7	▲1.7	▲2.8	▲0.6	▲1.7	0.3	3.7	5.9	13.7
小幅織物(千㎡)	38	39	40	38	36	33	39	40	41
前年同月比(%)	▲1.7	10.4	6.3	▲3.9	▲8.9	▲15.7	▲6.2	5.0	14.4

### <観 光>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
観光施設(10施設)入込 (千人)	470	442	671	344	304	544	477	460	394
前年同月比(%)	27.5	▲31.9	▲25.1	▲22.6	16.6	▲3.6	10.2	28.7	▲1.7
有料道路(5路線)通行量 (千台)	762	650	717	624	709	847	692	692	687
前年同月比(%)	0.0	▲3.1	▲5.9	▲0.7	1.0	0.7	2.0	6.6	▲1.4

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標  
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・百貨店販売額	・産業用大口電力消費量	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・雇用保険受給者実人員	・消費者物価指数
・自動車新規登録台数	・鉱工業在庫指数	・完全失業率	・県内金融機関貸出残高
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・信用保証協会保証金額
・清水税関支所管内輸出額			・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸入額			

## 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

## 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
消費者物価	総務省統計局	<a href="http://www.stat.go.jp/">http://www.stat.go.jp/</a>
家計調査		
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告  
平成28年1月号 通巻477号

発行 静岡県経済産業部  
平成28年1月

編集 経済産業部管理局政策監  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6  
TEL 054-221-2635  
FAX 054-221-3217  
E-mail [keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)  
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>